

## 第34回高知県がん対策推進協議会 要旨

1. 開催日 令和3年9月8日(水)
2. 場所 書面審査
3. 参加者 協議会委員 19名
4. 議題  
(1) 令和3年度 患者満足度等調査について
5. 報告事項  
(1) 令和2年度 がん検診受診率  
(2) がん検診受診促進キャンペーン等  
(3) がんフォーラム  
(4) がん相談会 2021in オーテピア

### 6. 概要

令和3年8月27日に各委員に協議会資料を送付し、令和3年9月8日までに全員から了承する旨の回答を得ました。

また、以下のご意見がありました。

- ①患者満足度等調査の実施要領の中の「往診」という文言について、「往診」は患者の求めに応じて急に行く場合を言うもの。計画的に往療を行う場合、「訪問診療」ということになっている。
- ②患者満足度等調査の調査表について、
  - ・問14 ※診断時(1~4) → (1~4、7)  
※診断時(5~8) → (5~6、8)
  - ・問16 3 同じ職場 → 同じ職場(学校)  
5 休職中 → 休職(休学)中
  - ・問17 5 復職までの間 → 復職(復学)までの間  
6 復職したのち → 復職(復学)したのち
  - ・問21 就労に関する → 就労(就学)に関する
- ③問8、23、24、25、37は複数回答がある質問のため、「あてはまるすべての番号に○をつけてください」などを記載したほうが良い。
- ④患者満足度調査の結果は、当院職員にフィードバックして、改善につなげるように努めている。今後も継続して願います。
- ⑤患者満足度調査の調査表は、質問の文字数が少なくなり、わかりやすくなった。
- ⑥がん検診受診率が低い?原因、少しでも上げる方策を考えているか。
- ⑦肺がんは5年生存率が未だに45%と、行政検診の中では最低位であり、1年未受診になると、次回受診時は「進行がん」のステージに悪化する。肺がん検診こそ継続受診が必須である。R3年度の肺がん検診の読影判定感触では、新型コロナ感染リスク忌避による影響は感じない。現在、肺がん疑い要精査で多いと感じるのは、今回だけ受診した方や、数年間未受診だった方の進行肺がんである。
- ⑧がんと告知され孤独と戦っている方や周囲に相談できない方もたくさんおられる。患者会の活動内容が知りたい。

いただいたご意見には下記のとおり対応します。

①、②、③については、ご意見のとおり修正します。(資料1-1, 資料1-2)

④⑤については、がん患者さんの満足度の向上には、本調査の回答を多く集め、結果を事業に反映するとともに、患者さんへの対応に活かしていただくことが大変重要となりますので、今後ともご協力をお願いいたします。

⑥については、がん検診受診率は、市町村検診で伸び悩んでいるため、今年度は、市町村検診の主な対象者である国民健康保険加入者への広報・啓発を実施しています。具体的には、県医師会及び医療機関にご協力をいただき、受診者へのチラシ配布による受診勧奨を行うとともに、県においても、農林水産事業者や商工会・商工会議所へのチラシ配布や、一次産業従事者や自営業の方など職種を絞りWEB (Google、Yahoo) 広告で受診勧奨を行っています。

⑦については、前述のWEB広告などで、肺がんの継続受診の必要性を周知していきます。

⑧については、今回同封します「高知県版がんサポートブック」の2～3ページのがん相談窓口等をご紹介しますようお願いいたします。